

# 地域おこし協力隊活動報告

(令和4年度)

新潟県 上越市 吉川区 川谷地域

地域おこし協力隊 宇野 拓朗





# 活動概要

- ・地域 吉川区川谷地区  
3町内会(川谷、石谷、名木山)
- ・期間 2022年(令和4年)4月1日～
- ・ミッション 棚田の維持管理・地域振興
- ・報告内容

①雪解けと山菜

②初めての春作業

③家庭菜園

④多様な生き物

⑤自宅の修繕

⑥狩猟とジビエ

⑦行事・イベント

⑧さいの神と冬まつり





# ①雪解けと山菜

川谷に住み始めてから、初めての春。  
中山間地の雪解けは遅く、場所によっては  
ゴールデンウィークまで残雪が確認できる。

首都圏では馴染みの薄い山菜も、ここでは取り放題。  
そもそも、一歩家から出れば足元に「ふきのとう」が生えている。

場所を移して、雪解け直後の山を散策すると、  
「うど」や「こごみ」はそこら中に自生し、  
「わさび奈(ヤマワサビ)」、「タラの芽」  
「カタクリ」など、魅力的な  
山菜も収穫できる。

これまで味わったことのない春の贈り物。  
雪深い川谷の冬を耐えた先には、  
美味しいご褒美が。

急勾配で  
うど収穫

可愛らしい  
ふきのとう

清流のわさび菜

美味しいこごみ



# ②初めての春作業



川谷の桜

トラクターに乗って、耕耘。  
もう操縦はお手の物。



不安。

初めての田植え機



すじまき



除草剤を散布



# ③家庭菜園

夏の定番、トウモロコシ



味噌と食べるのが好き  
キュウリ



初夏のジャガイモ畑



無事に多収成功  
キタアカリ



ビールのおつまみ  
枝豆



自宅の目の前の畑では、自分の好きな野菜を栽培。  
イチから自分で作物を育てていくので、収穫の喜びは形容し難い。  
そんな僕の畑の師匠は近所の母ちゃん。初心者の僕のことを暖かく見守っていただき、感謝の言葉もありません。



# ④多様な生き物

星の谷ファームの  
アイガモ隊



必殺仕事人・カマキリ



全然"少量"じゃない  
ショウリョウバッタ



存在感が違う  
キリギリス



刺されたら痛い  
ハチ

山里では、多様な生き物が  
色々な場所で生活している。  
畑や田んぼに川辺、草むら  
に車道、はたまた家の中まで。  
個人的には、自分の農地や  
生活圏でのびやかに暮らす  
生き物を見ると、彼らが食  
べるものや生活する場所は脅か  
されていないのだと、ちょっと  
安心。  
こうした生き物たちの近くで  
ないと、できない暮らしがある  
ことを学んだ。

星の谷ファームの  
ニワトリさん



カナヘビ  
(カナチヨロ)ちゃん



もがくアカハライモリ



ちょうちょ



かわいい かわいい



クマケムシ



# ⑤ 自宅の修繕

自宅は空き家。傷んでいる箇所や問題がある箇所は当然ある。  
地元の工務所に習いながら修繕したり、使える資材を工夫してDIY。  
大作業も山里暮らしの醍醐味。



自作の表札



自作の棚



New! 玄関

輝きが違う。



傷んだ壁の補修



# ⑥狩猟とジビエ



ジビエ解体研修の甲斐あって、自分で捕獲したアナグマやヘビも捌けるようになりました！  
川谷地域の若手で箱罟を設置したり、イノシシを捕まえたり充実のハンター生活！



# ⑦行事・イベント



分館運動  
みんなで体を動かそう～運動会～



神事



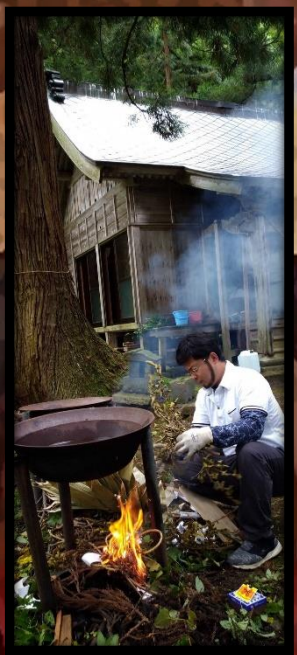
互の市出店



新年会



夏祭り



集落総出で神事の準備



昨年につき、様々なイベントに出席。地域交流イベントや体験会にお祭り…。川谷ならではの取り組みや行事の発信を通して、新しい繋がりを築いていきたい。



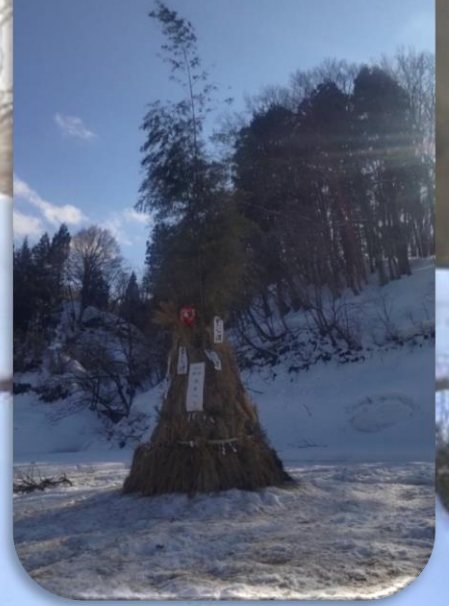
三輪隊員企画  
雪と火の山ざと暮らし体験会



# ⑧さいの神と冬まつり

新しい住民も増えました！！

さいの神



さいの神と尾神岳



川谷地域の冬まつりは、吉川区の大トリを務める。といっても、開催時期が区内で最後というだけだが、住民総出で作る「さいの神」はやはり壮観！！今年は大恵まれ、気持ちの良い日光を浴びながら煙をまっすぐと伸ばしながら燃えていった。



# ～活動を振り返って～

川谷での二度目の冬を迎え、それも終わりに近づいています。今年度は特に、多くの方々から助けられ、支えられていることに気付かされた1年でした。協力隊として残された時間もわずかとなり、農家として生活していくための準備が始まり、先輩移住者や地域の方々、総合事務所や推進員などに手助けしていただく場面が数えきれないほどありました。私たちが暮らしていけるように配慮していただいたこと、心から感謝しています。

一方で、残された1年半で楽しみたいことも、山ほどあります。来年度は約2町の田んぼを管理し、畑ではチャレンジしたい野菜がたくさんあり、銃猟の免許も取って、リフォームもします。いずれ来る新しい移住者のためにも、来年度も魅力を発信し続けます。

